

【第6報】2021年度尾道市立大学入学者選抜方法等の変更について(予告)
—大学入学共通テスト記述式問題の導入見送りに伴う本学の対応について—

令和2年3月17日

尾道市立大学 学長 中谷 武

令和元年12月17日に文部科学大臣が大学入学共通テスト記述式問題（国語及び数学）の導入見送りを発表しました。本学は、平成31年（2019年）3月28日付「【第3報】2021年度尾道市立大学入学者選抜方法等の変更について（予告）」において、一般選抜での大学入学共通テスト記述式問題（国語及び数学）の活用を予告しておりました。しかし、今回の発表を受けて、一部を次のとおり変更いたします。

変更前

5. 一般選抜について

(2) 選抜方法

一般選抜の入学者の選抜は、2021年度大学入学共通テスト（国語及び数学については記述式問題含む）と、本学が行う個別学力検査（美術学科においては、実技検査）および調査書等（出願者本人が記載する資料等も含む）の内容を総合して行います。

1 記述式問題の活用

大学入学共通テスト「国語」については、記述式問題も評価の対象に加えます。

大学入学共通テスト「数学」における「数I、数I・数A」については、記述式問題を含めた点数を合否判定に利用します。



変更後

5. 一般選抜について

(2) 選抜方法

一般選抜の入学者の選抜は、2021年度大学入学共通テストと、本学が行う個別学力検査（美術学科においては、実技検査）および調査書等（出願者本人が記載する資料等も含む）の内容を総合して行います。